

## 「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.12)」

### ■ 研修時期・研修先

時期：令和6年10月26日（1日）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

### ■ 研修生について

岩手県内在住のOさん。農業に興味があるが、実際に経験したことが無いので、ぜひ体験したい、農業の魅力や苦労する点などを教えていただきたいとお申込みいただきました。

### ■ 研修先の概要

経営面積は、水稻（主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha）、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

また、新規就農者確保のため、就農希望者に研修を受けさせながら、自営就農への支援をしています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

### ■ 研修の内容

白菜・いんげん・大根の収穫、りんごの箱詰め、産直出荷品の袋詰め・値札貼り、トラクタでの耕起、管内の案内、新規就農した方を交えての座学を実施しました。



### ■ 研修の感想

- ・ 収穫に鎌を使用しましたが、思い通りに使えませんでした。始めてトラクタを操縦しましたが、楽しかったし、意外に小回りが利くことに驚きました。
- ・ 産直の研修では、地域の人との繋がりがすごくあるところだなあと感じ、それが大事なことであり、農業は作るだけではないことを知りました。
- ・ 座学では、新規就農した女性の方から、話を聞くことができました。就農したきっかけや現在の状況。水稻 3ha の水田を自身でトラクタを操縦し、耕起・代掻き作業などを行っている等、女性でも、トラクタを操縦し様々な作業ができていることを学びました。



### ■ 今後の予定

- ・ 野菜での自営就農を考えていますが、今後も農業に関する勉強と情報を集め、就農について考えて行きたいと思います。
- ・ 今回の研修で新規就農するイメージはつきましたが、農業を始めるには、設備資金が必要なことを知りましたので、社会人を続けている間は、設備資金を蓄えたいと思います。